

JBL4350A の再構成(2)
—BACU2000 と AACU1000 のテスト—

1. 始めに

[JBL4350A の音質向上\(9\)](#)でパワーリベラメンテの効果を確認して以降、深く追求していません。その後、一部アンプの不調がありましたので、入れ替えを行うこととし、前報(1)で一応再構成が終わりました。その後、アナログ盤のイコライザーカーブと位相の判定テストを行いつつ、不具合の修復とマルチアンプシステムの調整を行ってきました。さらに、LP-12 の ZANDEN のインシュレーターZVA-1 もセットしました。これらの経過は別途下記で報告していきます。

ZANDEN Model 120 の活用(25)

ZANDEN Model 120 の活用(26)

アナログ関連アクセサリーの試聴(20)

今回、さらなる音質向上の手立てとしてアナログアキュライザーAACU-1000 とバランスアナログアキュライザーBACU-2000 のテストを行うこととしました。

2. JBL4350A の試聴方法

JBL4350A のアナログ再生ルートは、ZANDEN Model 120 の活用(25)において、下記のように設定しています。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス/バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→(位相反転ケーブル)→(バランス/アンバランス変換プラグ：2番ホット)→(アンバランスケーブル)→アキュフェーズ F-15 チャンネルデバイダー→マルチアンプ駆動系

FAL C90EXW のシステムは、P&G フェーダーと 300B シングルアンプをバランスケーブルで接続し、P&G フェーダーの出力端子にバランスアナログアキュライザーBACU-2000 をセットしています。

JBL4350A のシステムには、そういった処置をしていませんので、ここにアナログアキュライザーAACU-1000 とバランスアナログアキュライザーBACU-2000 の装着を試みます。

アナログアキュライザーAACU-1000 の装着

(バランス/アンバランス変換プラグ：2番ホット)→AACU-1000→(アンバランスケーブル)

バランスアナログアキュライザーBACU-2000 の装着

(位相反転ケーブル)→BACU-2000→(バランス/アンバランス変換プラグ:2番ホ
ット)→(アンバランスケーブル)

音源は、記憶も新しいアナログ関連アクセサリーの試聴(20)でも使用した、下記を再生し
てみました。

LONDON (キングレコード) SOL 1003-4

ブルックナー 交響曲 4 番

カール・ベーム指揮ウイーンフィル

Trio Record PAC-2009

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲 3 番 4 番

フランコ・グッリ(vn・指揮) ミラノアンジェリクム管弦楽団

3. JBL4350A の試聴結果

なお、イコライザーカーブ、位相、第 4 時定数の設定は、ZANDEN Model 120 の導
入(6)の結果を受けて次のように設定しています。

ブルックナー 交響曲 4 番

DECCA 逆相 Mid

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲 3 番 4 番

EMI 逆相 Low

まず、アナログアキュライザーAACU-1000 を上記のように装着しますと、ブルック
ナーでは、JBL の高域の煌びやかでメタリックになりがちなところが抑制され、バラ
ンスがよくなり、ブルックナーに特徴的な複雑な音の紡ぎ具合が明瞭になってきます。
モーツアルトでは、ヴァイオリンと弦楽アンサンブルの艶っぽいニュアンスも出てき
ます。

ついで、バランスアナログアキュライザーBACU-2000 を上記のように装着しますと、
そのような傾向はさらに助長され、ブルックナーでは、弦のトレモロの騒めきや木管の
ニュアンスまで明瞭になり、モーツアルトでは、ヴァイオリンと弦楽アンサンブルの
艶っぽいニュアンスがさらに向上します。

4. まとめ

アナログアキュライザー、バランスアナログアキュライザーともに、これまで、FAL
のシステムで P&G フェーダーと 300B アンプの間に挿入した時と同様の効果が得ら
れました。その効果は、バランスアナログアキュライザーの方が顕著で、ここまでく
ると JBL の個性まで変わったようになります。

以上